

カナダ視察 報告

9月1日～13日の日程でカナダ視察に行ってきました。

《主な視察内容》

1. カナダ政権与党リベラル党州本部にて地方分権、現在の政治課題などについて
2. ビクトリア市役所にて、市町村の役割、市町村議会のあり方について
3. モントリオール教育委員会、小学校訪問にて、教育行政のあり方
4. ケベック州観光局にて、アグリツーリズム、グリーンツーリズム等のカナダ観光政策について
5. その他、世界遺産等



詳細につきましては、ホームページに報告書を作成し、掲載しておりますので、是非一度ご覧下さい。

<http://www.dream-21.jp/h16-9kanadasisatu.htm>

出前カナダ視察報告会を開催します

カナダ視察では、特に市町村議会のあり方、教育委員会のあり方、観光政策について、非常に有意義なものであり、皆様と情報共有をはからせていただきたく思います。事務所までお電話いただければ、出前カナダ視察報告会を開かせていただきます。お電話お待ちしております。(0593-61-7873)

パソコン教室のご案内

いながき昭義事務所では、パソコン教室を開校しています。初心者対象のパソコン教室ですので、「パソコンをやってみよう」「前に少し習ったことがあるけどそれ以来パソコンを使っていない」という方、是非お電話下さい。

◆ 営業時間：月曜日～木曜日 9:30～20:20

◆ 授業形態：少人数制、個別指導

◆ 料 金：チケット制です。

10回講座分チケット（一回の授業は1時間20分）で10,080円

一時間あたりの授業料に換算すると約750円と超格安です。

その他、入塾時のみ、入会金（1万円）テキスト代（2,500円）

がかかります。

◆ お申込み方法：0593-61-7875までお電話ください。無料体験、随時募集しています。



個人献金のお願い

いながき昭義の政治活動は、皆様方の個人献金にお支えいただいております。心から感謝申し上げますと共に、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。勝手申しますが、下記口座にお志をお振込みいただきますようお願い申し上げます。尚収支報告につきましては、HPで詳細に公開しております。

http://www.dream-21.jp/money_index3htm.htm

◆ 三重銀行 三重支店 口座番号911077 名義 昭友会 代表者 稲垣昭義

◆ 郵便局 記号12280 番号26086671 名義 昭友会 代表者 稲垣昭義

Dream21 (ドリーム21)

第11号

発行：いながき昭義と明日の三重を考える会 Tel 0593-61-7873 Fax 0593-61-7876
《事務所》〒510-8012 四日市市茂福町9-27 URL <http://www.dream-21.jp>
《自宅》〒512-0904 四日市市東坂部町266-6

後援会事務連絡

謹啓 時下、益々ご健勝のことと拝察しお慶び申し上げます。日頃は、いながき昭義後援会の活動にご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

今年は、三重県にとりまして、台風、地震と自然災害の多い年です。中でも、台風21号は、三重県の中勢、南勢に大雨をもたらし、宮川村、海山町はじめ多くの市町村に多大な被害を出しました。

お亡くなりになられました方々に哀悼の誠をささげますと共に、一日も早い地域の復興を心よりお祈り申し上げます。

防災対策、被災地救済等、県政の課題が山積みの中で、いながき昭義君は、皆様にお支えいただきながら、県内、県外を走り回っております。

今回は、後援会報第11号を発行し、いながき昭義君の活動の一端をご報告させていただきます。今後とも皆様方の力強いご支援賜りますようお願い申し上げます。 謹白

いながき昭義後援会会長
古市 祐治



後援会活動の足跡

～一行日記から抜粋～



- 7月29日 東坂部町後援会幹事会
- 8月 3日 三重地区後援会幹事会
- 8月11日 大矢知地区後援会幹事会
- 8月11日 昭励会幹事会
- 8月13日 ラブ・オレ定例会
- 8月23日 近鉄富田駅前街頭演説
- 8月29日 第17回県政報告会
- 8月29日 第18回県政報告会

今後更なる後援会活動の充実をはかって参ります。一行日記は毎日のいながき昭義の活動が記録されています。ホームページでご覧頂けます。

<http://www.dream-21.jp>



いながき昭義県政報告会日程

恒例の県政報告会を下記日程にて行ないます。皆様お誘い合わせでご参加いただきますようお願い申し上げます。

第19回

11月14日(日) 14時～15時
三重地区市民センター

第20回

11月14日(日) 19時～20時
大矢知地区市民センター

最年少三重県議会議員 いながき昭義後援会会報

●○平成16年第三回定例会 報告 ○●

(会期:平成16年9月14日～10月14日)

◆9月30日、稲垣昭義が三度目の一般質問に登壇！！◆

1. 「新しい時代の公」について

稲垣昭義 質問:

私は、3月議会にて、四日市市別山団地の青色回転灯を着けた住民の防犯活動を「新しい時代の公」の実践例として、着脱式の回転灯の使用が可能となるよう県も一緒になって行動すべきであるとの提案を致しました。知事はその後、国に対して2度にわたる要望を出していただき、着脱式の回転灯の使用ができるよう省令改正の運びとなりましたことにまず感謝を申し上げます。

今後、三重県発祥の青色回転灯が住民の防犯活動のシンボリックなものとして全国に広がり、住民自らが自らの町を自らで守るといった文化が根つき、治安の回復が進むことを大きく期待しております。知事の御所見をお願いします。

野呂昭彦知事 答弁:

地域住民の方が主体的な活動の中で直面しました制度的な問題について、国に働きかけてきましたことが国を動かす、制度を改正するに至りました。私としては、確かに「新しい時代の公」の目指すべき姿であると考えております。今後、県民の皆様によります主体的な取り組み事例を積極的に紹介することなどを通じて、一人でも多くの県民の皆さんに「新しい時代の公」の考え方を広め、理解をしていただきたいと思います。

稲垣昭義 質問:

「新しい時代の公」を考えると、その前提には、県民一人一人が持つ公の心の部分が大切であると考えます。例えば学校教育の中で公の心、意識、あるいは三重県が目指す「新しい時代の公」について取り入れて、子供たちに伝えていくつもりはありますか、御所見をお願いします。

安田敏春教育長 答弁:

学校教育では、子供たちの発達段階に応じて、人と人とのきずなや思いやりを大切にする心をはぐくんだり、多様な生き方を認め合うような考え方や、社会に貢献する精神を身につけることが大切であると考えられています。

例えば小・中学校におきましては、学習指導要領に基づき、社会科や総合的な学習の時間などで地域について学習し、地域社会の一員としての自覚を養い、また、ボランティア活動などを通じて社会貢献や社会参加についての理解を目指した学習も行っています。このようなことが、子供たちが将来社会の一員として新しい公というものを理解し、その担い手となって活躍していく礎となるものと考えます。



教育警察常任委員会

2. 「広報力」強化に向けた戦略的な取り組みについて

稲垣昭義 質問:

広報広聴につきましても、今後の県の取り組みとして、より戦略的な新たな展開に入ってほしいと考えますが、いかがでしょうか。また、効率的な広報を実現していくためには、政策評価の上でも効果測定は欠かせないものと考えますが、お考えをお聞かせください。更に、庁内広報の強化についてもお尋ねします。



大四日市まつり おどろきフェスタ出場

野呂昭彦知事 答弁:

県の情報発信力を高めるということは大変大事なことであり認識しております。このために、地域機関を含めまして、室長等所属長を広報広聴責任者と定めまして、所属の広報広聴に中心的な役割を果たしてもらおうよう求めてきております。各部署におきましては、広報広聴主任者並びに広報広聴キーパーソンを配置いたしまして、さらに、主任者で構成する広報広聴会議を開催し、情報共有をしつつ、計画的に全庁的な広報広聴の推進に努めているところであります。

今日御指摘いただきましたことも貴重な観点であると思っておりますので、今後の検討の中で、更にその質を上げるように努力をしていきたいと思っております。これからの戦略的な取り組みにつきましては、内部での伝達体制について、広く必要な情報がすぐさま共有できる状況になっていくことが大事です。今後ともしっかりとレベルを上げていけるよう取り組ませていただきます。

※次回、第四回定例会の日程は、11月18日～12月17日の日程で行われます。

稲垣昭義 質問:

県の体制は、総合企画局に広報広聴室があり、県民に対しての情報発信、庁内の情報伝達を行なっています。対外的な広告宣伝に関しては、各部署が独自に行なっており、主任者や、キーパーソンが設置されています。しかし実際は、キーパーソン等は、別の仕事を持っていて専従ではありませんので、県民だよりの順番調整や、マスコミへの情報提供くらいしかやっています。広報公聴体制を強化するためには、各部署に専属の広報担当を置く必要があると考えますがいかがですか？

野呂昭彦知事 答弁:

御指摘いただいた点、極めて大事なことであります。今後、担当部署等ともよく意見交換をしながら議論検討をさせていただきます。

稲垣昭義 質問:

観光や、ベンチャー企業育成、防災対策など県が力を入れている施策については、部局で広報関係の予算を把握していますが、それ以外はほとんど把握されていないのが現状です。戦略的な広報を展開するためには、まず実情を知り、組織体制を見直す必要があると考えますのでよろしくをお願いします。

3. スーパー中枢港湾四日市港について

稲垣昭義 質問:

国のスーパー中枢港湾指定を受け、四日市港を取り巻く環境が大きく変化する中で、県庁内で四日市港に関する企画力やビジョンを議論する体制をつくり、県が主導的役割を果たすことが必要であると望みますが、御所見をお聞かせください。

また、今後、県と市と管理組合と、民間の港湾関係各社と一緒に議論をする、例えば「スーパー中枢港湾育成プログラム検討会」のようなものを設置し、産業部局の連携を図る必要があると考えますが、御所見をお聞かせください。

村林 守総合企画局長 答弁:

スーパー中枢港湾の指定を受けたということは、県政にとって非常に重要な事柄であると認識をしておりますので、それを生かすためには、四日市港を総合交通体系の一つのとらえ、陸海空の有機的な連携によって、背後圏における産業振興策との総合的な取り組みが必要だと考えております。

スーパー中枢港湾の育成プログラムを進めるために、官民挙げての検討会をつくってはどうかという御提案がございました。これにつきましては、管理組合が検討していくことになると思いますので、私の方からここで御答弁するのは適当でないと思っておりますが、その進め方について、県として必要な支援をしていきたいと考えます。

稲垣昭義 質問:

御答弁を聞かせていただきまして、県にとっては重要な港であるという認識は持ちつつも、その主体は管理組合であるため、県がどこまで関与していいのかが非常に困惑しながら答弁をしているという印象を受けます。県は調整機能を果たせば良いといった考えが出ています。しかし、スーパー中枢港湾の指定は、日本を代表する六港のうちの一つになったということです。そんな中で、調整機能だけでいいのかということは非常に疑問に思います。県の組織の中においても、例えば産業部局の中に四日市港の担当の部署を設けるといったことが必要であると考えますがいかがですか？

野呂昭彦知事 答弁:

四日市港については、戦略的な方向づけというものを私どもはこれからしていきたいと思っております。今御指摘がありましたことも、県として一体どうやるのが一番いいのかという観点から検討していきたいと考えます。

稲垣昭義 質問:

県の産業政策に港もしっかりと絡めていくことが、これからは三重県浮上の、三重県の経済発展のかぎになると私は思っていますので、是非ともよろしくをお願いします。

※三重県議会では、今年度から一般質問のインターネット上での動画配信を行っております。是非ご覧ください。
<http://www.pref.mie.jp/GIKAIS/kengi/gikai.htm> (三重県議会のホームページ)

※その他質問項目 ●森林環境税の導入について
●都道府県合併については、紙面の都合上省略いたしましたが、ホームページ上にて答弁も含めた全文掲載しておりますので是非ご覧下さい。

三重県議会議員
稲垣昭義

議会報告は年4回発行しております。バックナンバー(第1号～第10号)が必要な方はご連絡下さい。お待ちしております。